

3 従業員の過不足感

問4 正社員・正規職員及びパートタイマーの過不足感についておたずねします。①と②の区分ごとにあてはまる番号を選んでください。(それぞれ○は1つ)

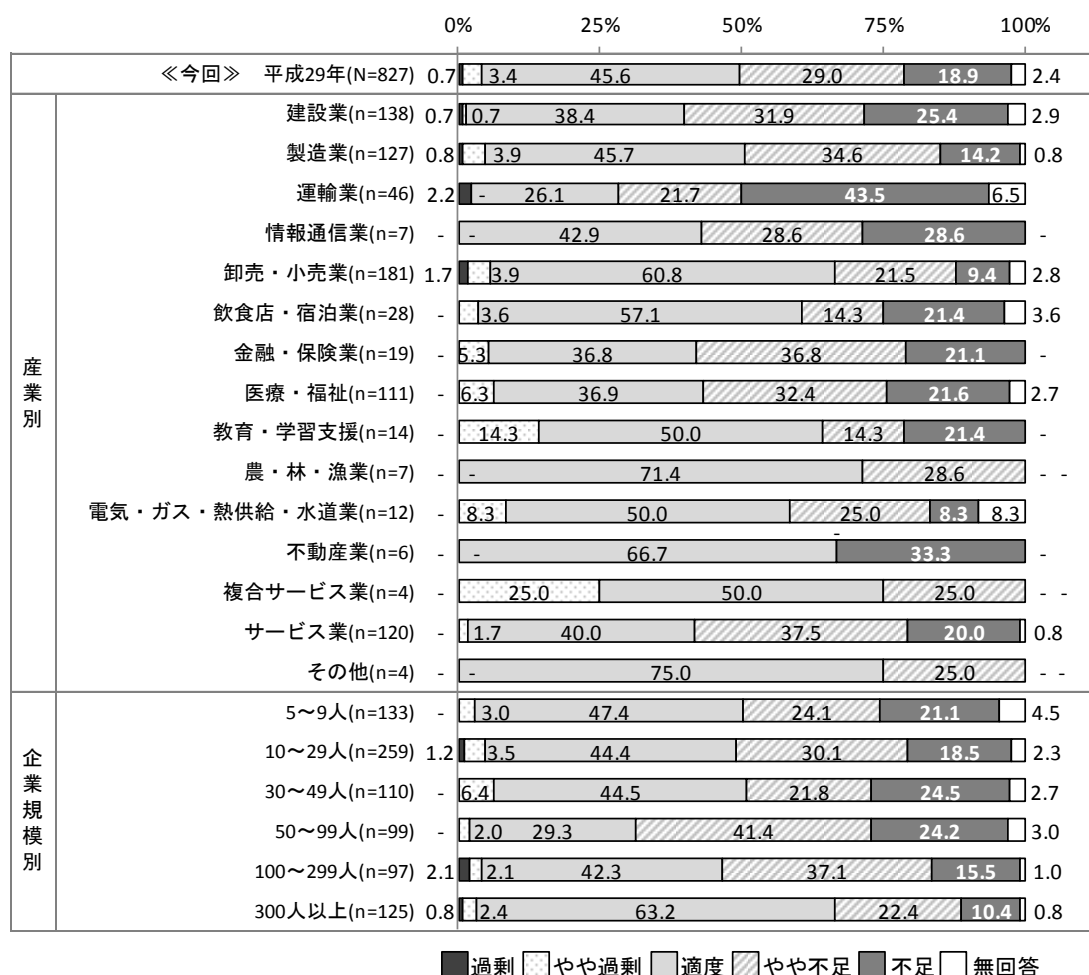
(1) 正社員・正規職員の過不足感

正社員・正規職員についての過不足感は、「適度」が45.6%で最も高く、「過剰」と「やや過剰」を合わせた『過剰』は4.1%、「不足」と「やや不足」を合わせた『不足』は47.9%となっている。

産業別にみると、ほとんどの業種で『不足』が『過剰』を上回っており、『不足』は運輸業で65.2%と特に高く、建設業、情報通信業、金融・保険業、医療・福祉、サービス業でも5割を超え高くなっている。

企業規模別にみると、『不足』は50～99人で65.6%と高くなっている。

図 正社員・正規職員の過不足感(全体、産業別、企業規模別)



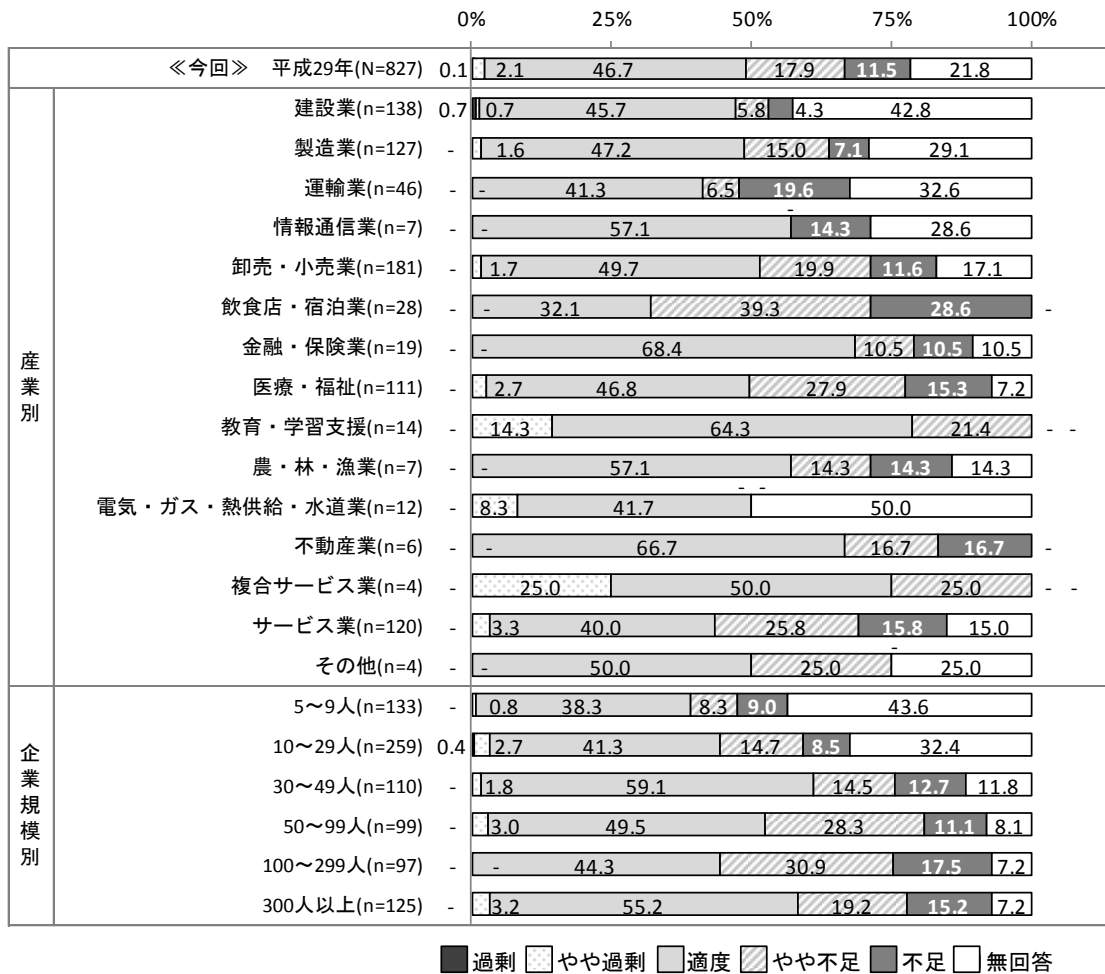
(2) パートタイマーの過不足感

パートタイマーについての過不足感は、「適度」が 46.7%で最も高く、「過剰」と「やや過剰」を合わせた『過剰』は 2.2%、「不足」と「やや不足」を合わせた『不足』は 29.4%となっている。

産業別にみると、ほとんどの業種で『不足』が『過剰』を上回っており、『不足』は飲食店・宿泊業で 67.9%と高く、医療・福祉、サービス業でも 4 割を超え高くなっている。

企業規模別にみると、『不足』は 100~299 人で 48.4%と高く、50~99 人でも 39.4%と高くなっている。

図 パートタイマーの過不足感(全体、産業別、企業規模別)



4 採用活動

(1) 正社員・正規職員の採用予定

問5 貴事業所では、今後（来春以降）正社員・正規職員の新卒採用もしくは、中途採用を行う予定がありますか。（〇はいくつでも）

正社員・正規職員の新卒もしくは中途での採用予定については、「新卒採用を行う予定がある」が42.4%、「中途採用を行う予定がある」が51.0%、「どちらも行う予定はない」は35.7%となっている。

産業別にみると、「新卒採用を行う予定がある」は教育・学習支援で85.7%と最も高く、「中途採用を行う予定がある」は運輸業で71.7%と最も高くなっている。

企業規模別にみると、「新卒採用を行う予定がある」「中途採用を行う予定がある」のいずれも50～99人、100～299人で6割を超えている。

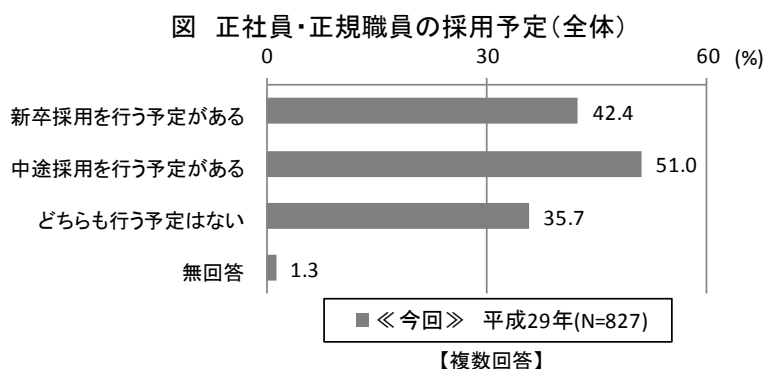


表 正社員・正規職員の採用予定(全体、産業別、企業規模別)

		標本数	新卒採用を行う予定がある (%)	中途採用を行う予定がある (%)	どちらも行う予定はない (%)	無回答 (%)
«今回» 平成29年		827	35.1	42.2	29.5	1.1
		100.0	42.4	51.0	35.7	1.3
産業別	建設業	138	45.7	65.2	25.4	1.4
	製造業	127	40.9	43.3	41.7	0.8
	運輸業	46	30.4	71.7	26.1	-
	情報通信業	7	57.1	57.1	-	14.3
	卸売・小売業	181	33.1	32.6	53.6	2.8
	飲食店・宿泊業	28	32.1	42.9	50.0	-
	金融・保険業	19	42.1	31.6	36.8	-
	医療・福祉	111	55.0	63.1	23.4	1.8
	教育・学習支援	14	85.7	71.4	7.1	-
	農・林・漁業	7	71.4	28.6	14.3	-
	電気・ガス・熱供給・水道業	12	66.7	41.7	33.3	-
	不動産業	6	16.7	33.3	50.0	-
	複合サービス業	4	75.0	-	25.0	-
	サービス業	120	40.0	59.2	30.8	-
その他	4	25.0	25.0	75.0	-	
企業規模別	5～9人	133	21.1	44.4	52.6	0.8
	10～29人	259	33.6	52.5	39.8	0.4
	30～49人	110	51.8	55.5	28.2	0.9
	50～99人	99	62.6	63.6	13.1	4.0
	100～299人	97	63.9	63.9	17.5	1.0
	300人以上	125	42.4	32.0	47.2	2.4

(2) 年齢区分ごとの採用予定

(問5で「1 新卒採用を行う予定がある」または「2 中途採用を行う予定がある」と答えた方へ)
 付問1 正社員・正規職員の採用予定について、①～③の年齢区分ごとにあてはまる番号を選んでください。(○は1つ)

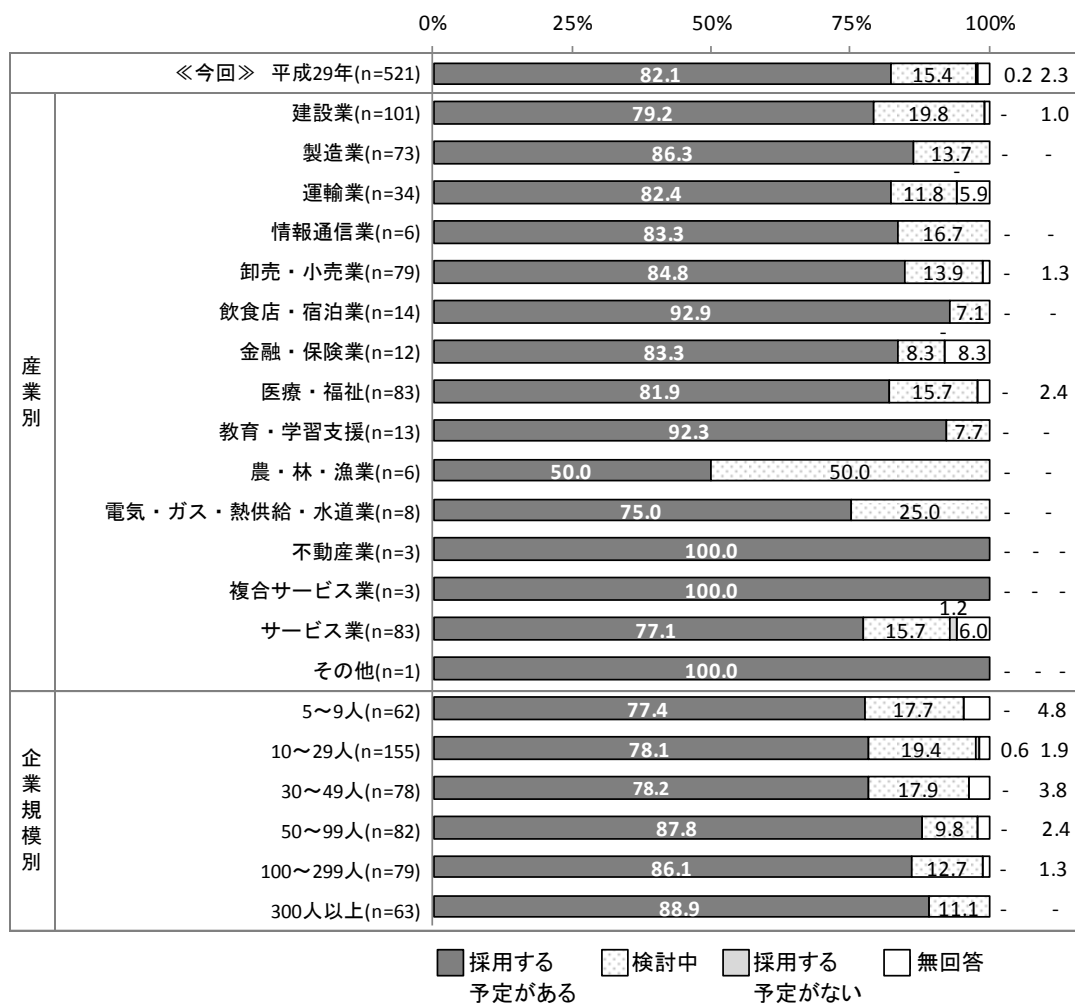
①若年者 (39 歳以下)

新卒もしくは途中で採用を行う予定がある事業所のうち若年者の正社員・正規職員の採用予定については、「採用する予定がある」が 82.1%、「検討中」が 15.4%で、「採用する予定がない」は 0.2%となっている。

産業別にみると、「採用する予定がある」は飲食店・宿泊業、教育・学習支援、不動産業、複合サービス業で9割を超え高くなっている。

企業規模別にみると、「採用する予定がある」は 50 人以上の規模で8割を超えている。

図 年齢区分ごとの採用予定【若年者】(全体、産業別、企業規模別)

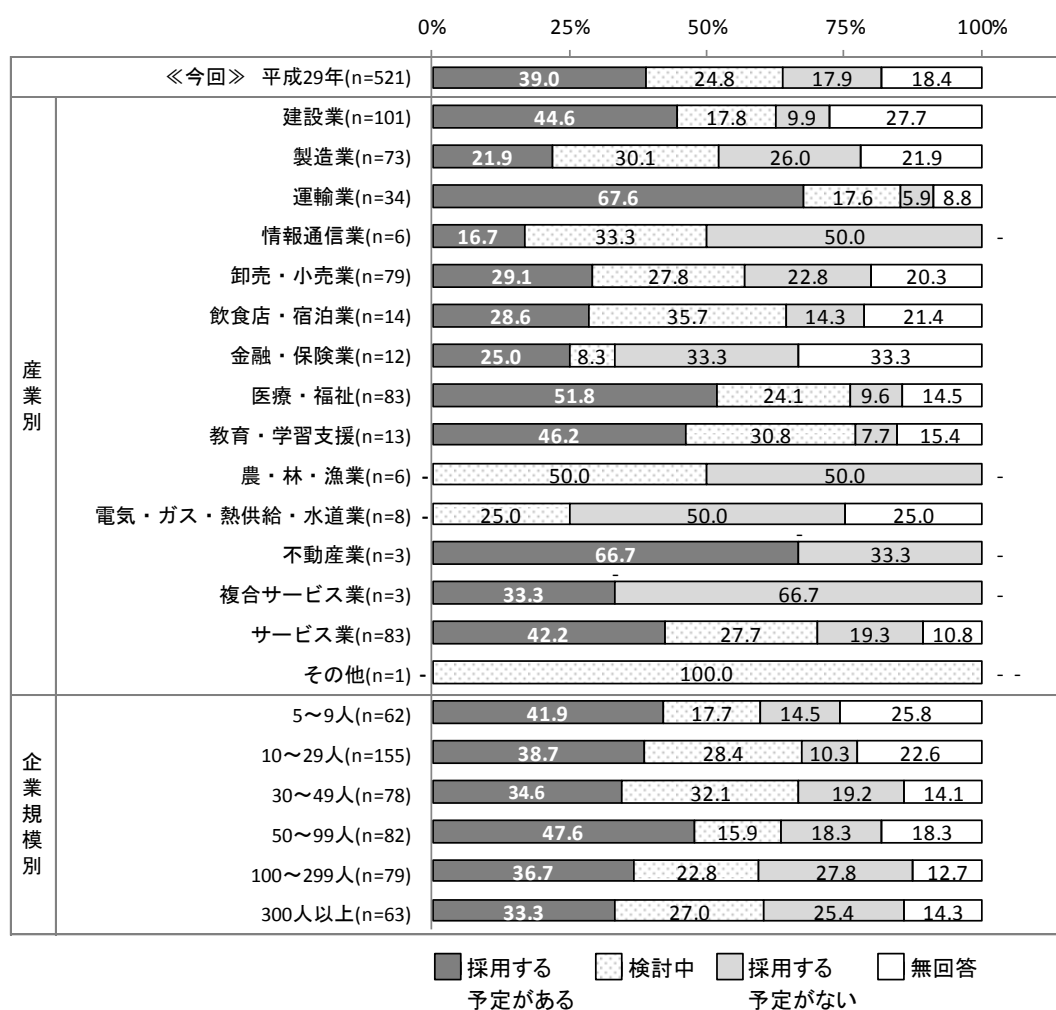


②中高年者（40～54歳）

新卒もしくは途中で採用を行う予定がある事業所のうち中高年者の正社員・正規職員の採用予定については、「採用する予定がある」が39.0%、「検討中」が24.8%で、「採用する予定がない」は17.9%となっている。

産業別にみると、「採用する予定がある」は運輸業、不動産業で6割を超え高くなっている。企業規模別にみると、「採用する予定がある」は50～99人で47.6%と他の規模より高くなっている。

図 年齢区分ごとの採用予定【中高年者】(全体、産業別、企業規模別)



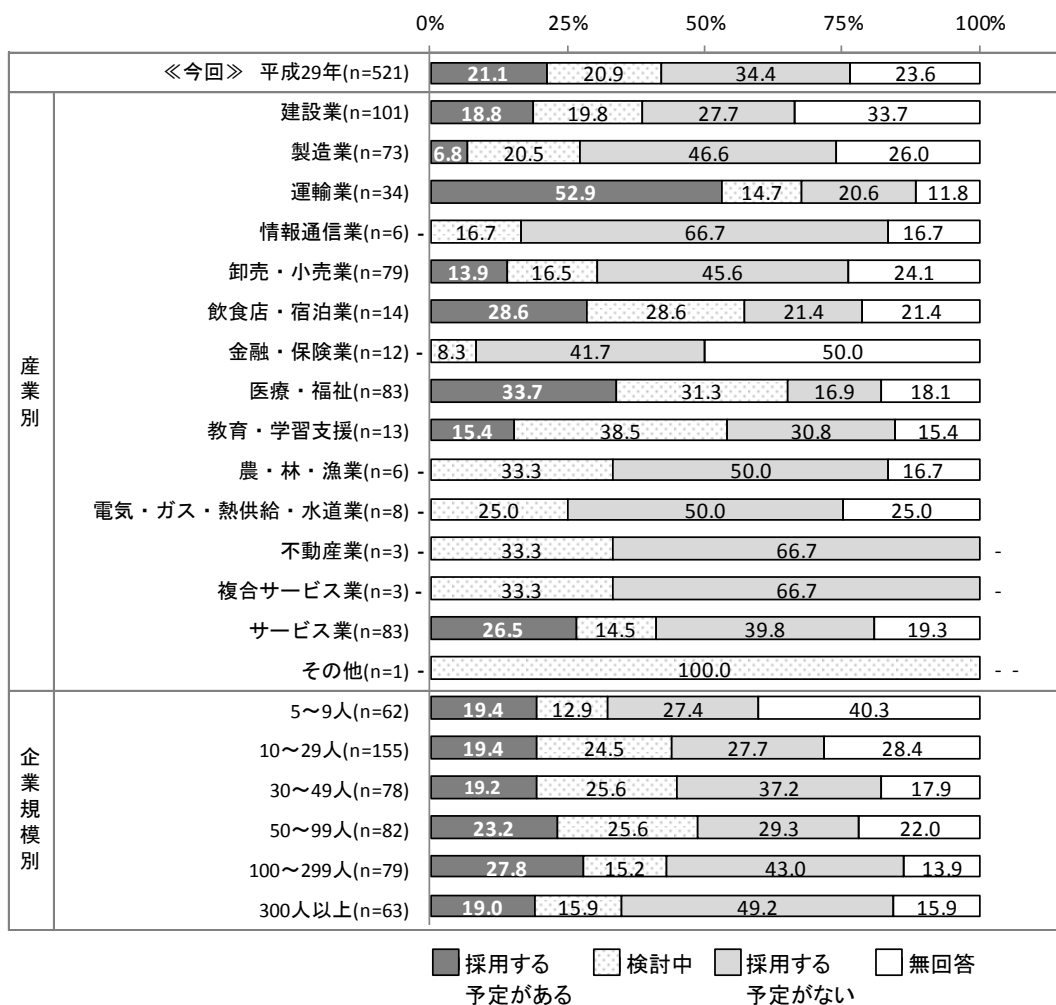
③高年齢者（55 歳以上）

新卒もしくは途中で採用を行う予定がある事業所のうち高年齢者の正社員・正規職員の採用予定については、「採用する予定がある」が 21.1%、「検討中」が 20.9%で、「採用する予定がない」は 34.4%となっている。

産業別にみると、「採用する予定がある」は運輸業で 52.9%と他の産業より高くなっている。一方、「採用する予定がない」は情報通信業、不動産業、複合サービス業で 66.7%と高くなっている。

企業規模別にみると、「採用する予定がある」は 100～299 人で 27.8%と他の規模より高くなっている。一方、「採用する予定がない」は 300 人以上で 49.2%と高くなっている。

図 年齢区分ごとの採用予定【高年齢者】(全体、産業別、企業規模別)



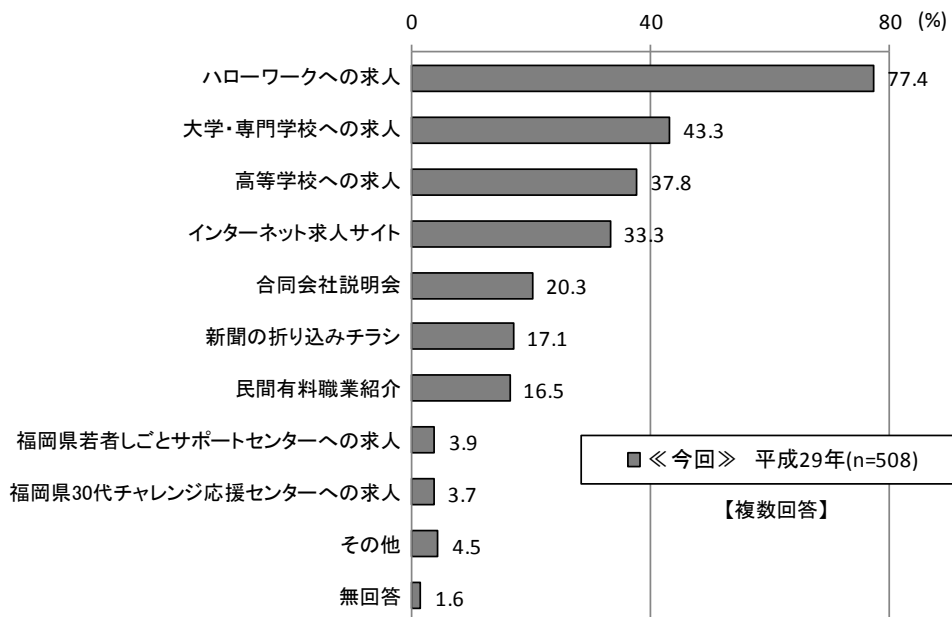
(3) 年齢区分ごとの求人方法

(問5で「1 新卒採用を行う予定がある」または「2 中途採用を行う予定がある」と答えた方へ)
付問2 正社員・正規職員の求人方法について、①～③の年齢区分ごとにあてはまる番号をすべて選んでください。(それぞれ○はいくつでも)

①若年者(39歳以下)

新卒もしくは途中で採用を行う予定がある事業所のうち若年者の正社員・正規職員の求人方法については、「ハローワークへの求人」が77.4%で最も高く、次いで「大学・専門学校への求人」が43.3%、「高等学校への求人」が37.8%、「インターネット求人サイト」が33.3%と続いている。

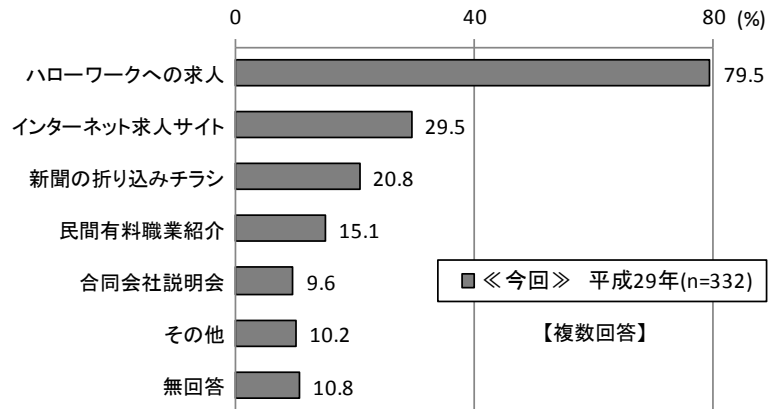
図 年齢区分ごとの求人方法【若年者】(全体)



②中高年者（40～54 歳）

新卒もしくは途中で採用を行う予定がある事業所の中高年者の正社員・正規職員の求人方法については、「ハローワークへの求人」が 79.5%で最も高く、次いで「インターネット求人サイト」が 29.5%、「新聞の折り込みチラシ」が 20.8%と続いている。

図 年齢区分ごとの求人方法【中高年者】(全体)

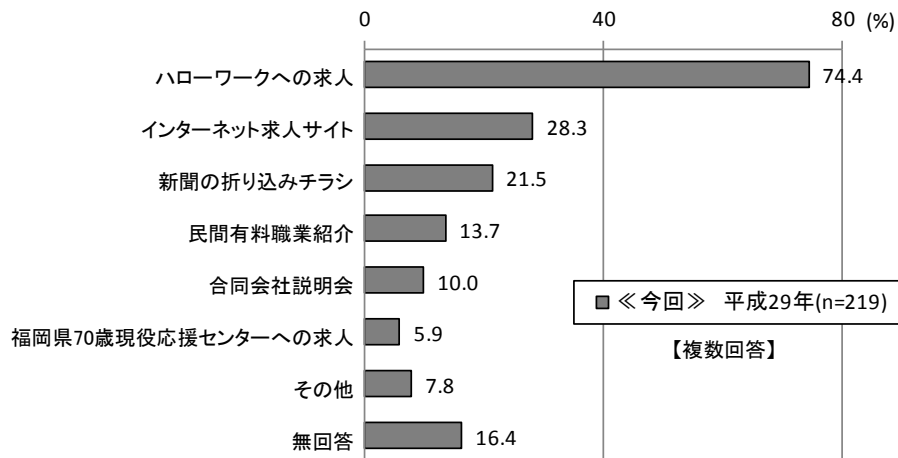


※「大学・専門学校への求人」「高等学校への求人」は「その他」に含む。

③高年齢者（55 歳以上）

新卒もしくは途中で採用を行う予定がある事業所の高年齢者の正社員・正規職員の求人方法については、「ハローワークへの求人」が 74.4%で最も高く、次いで「インターネット求人サイト」が 28.3%、「新聞の折り込みチラシ」が 21.5%と続いている。

図 年齢区分ごとの求人方法【高年齢者】(全体)



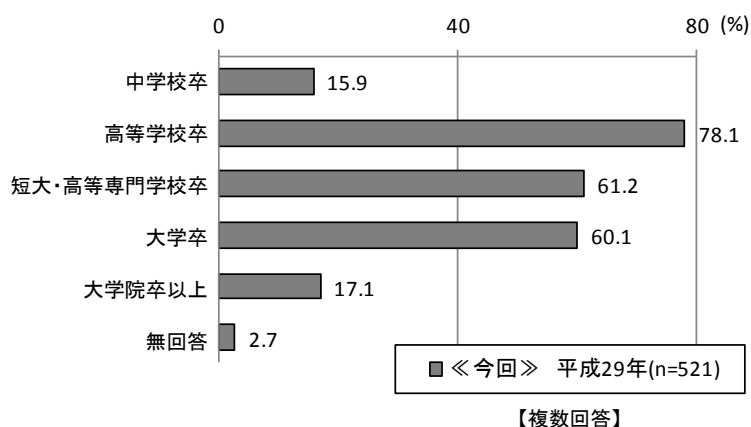
※「大学・専門学校への求人」「高等学校への求人」は「その他」に含む。

(4) 求める人材の最終学歴

(問5で「1 新卒採用を行う予定がある」または「2 中途採用を行う予定がある」と答えた方へ)
付問3 どのような最終学歴の人材を求めていますか。(〇はいくつでも)

新卒もしくは中途で採用を行う予定がある事業所で求める人材の最終学歴については、「高等学校卒」が78.1%で最も高く、次いで「短大・高等専門学校卒」「大学卒」が約6割が続いている。

図 求める人材の最終学歴(全体)



5 インターンシップ

(1) インターンシップによる学生の受入れ予定

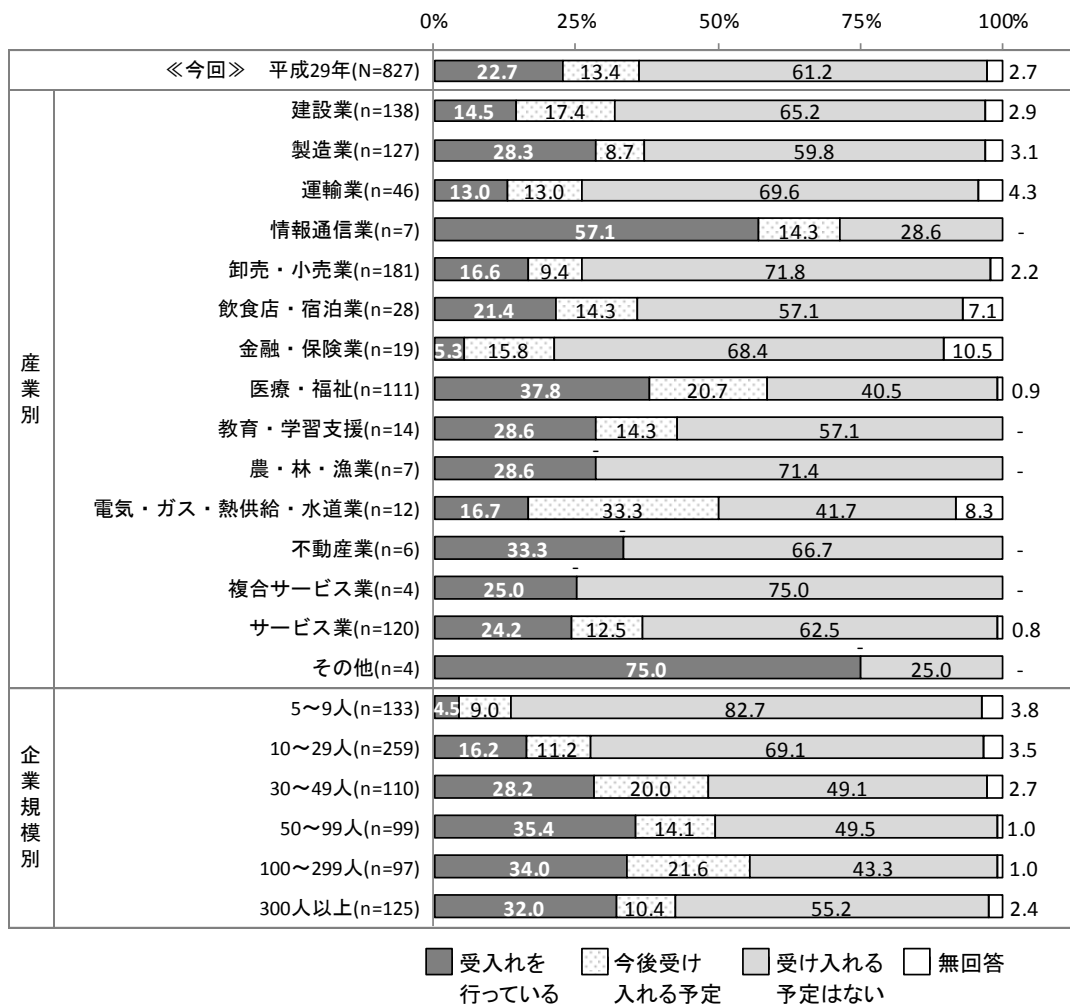
問6 貴事業所では、インターンシップ（注 10）による学生の受入れを行っていますか。（○は1つ）

インターンシップによる学生の受入れについては、「受入れを行っている」が 22.7%、「今後受入れる予定」が 13.4%で、「受け入れる予定はない」は 61.2%となっている。

産業別にみると、「受入れを行っている」は情報通信業で 57.1%と高く、医療・福祉、不動産業で3割を超えている。また、「今後受け入れる予定」は電気・ガス・熱供給・水道業で 33.3%と高くなっている。

企業規模別にみると、「受入れを行っている」は企業規模が大きくなるほど高くなる傾向にあり、50人以上の規模の企業で3割を超えている。

図 インターンシップによる学生の受入れ予定(全体、産業別、企業規模別)



(2) インターンシップによる学生の受入れ人数

(問6で「1 受入れを行っている」と答えた方へ)

付問1 平成28年4月1日から平成29年3月31日までの間に受け入れた学生は何人ですか。

①～④のそれぞれに人数を記入してください。

平成28年4月からの1年間にインターンシップによる学生の受け入れた人数については、「大学生」の受入れが72事業所で392人と最も多く、次に「中学生」が59事業所で385人となっている。

産業別に受け入れた合計人数をみると、医療・福祉で「中学生」165人、「高校生」54人、「短大・高等専門学校生」93人、「大学生」73人と多くなっている。また、飲食店・宿泊業で「中学生」92人、卸売・小売業で「大学生」77人と多くなっている。

企業規模別に受け入れた合計人数をみると、「中学生」は50～99人で104人、「大学生」は300人以上で138人と多くなっている。

表 インターンシップによる学生の受入れ実績(全体、産業別、企業規模別)

	①中学生			②高校生			③短大・高等専門学校生			④大学生			
	事業所数	合計 (人)	平均 (人)	事業所数	合計 (人)	平均 (人)	事業所数	合計 (人)	平均 (人)	事業所数	合計 (人)	平均 (人)	
全体	59	385	6.5	69	187	2.7	53	156	2.9	72	392	5.4	
産業別	建設業	※	※	※	8	16	2.0	-	-	-	5	19	3.8
	製造業	9	31	3.4	17	37	2.2	4	5	1.3	12	41	3.4
	運輸業	※	※	※	※	※	※	-	-	-	※	※	※
	情報通信業	※	※	※	-	-	-	※	※	※	4	39	9.8
	卸売・小売業	9	33	3.7	8	16	2.0	6	11	1.8	11	77	7.0
	飲食店・宿泊業	5	92	18.4	3	17	5.7	※	※	※	※	※	※
	金融・保険業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※	※	※
	医療・福祉	23	165	7.2	15	54	3.6	27	93	3.4	18	73	4.1
	教育・学習支援	※	※	※	※	※	※	※	※	※	3	10	3.3
	農・林・漁業	-	-	-	※	※	※	※	※	※	※	※	※
	電気・ガス・熱供給・水道業	※	※	※	※	※	※	-	-	-	※	※	※
	不動産業	-	-	-	-	-	-	※	※	※	-	-	-
	複合サービス業	※	※	※	※	※	※	-	-	-	※	※	※
サービス業	5	25	5.0	11	24	2.2	8	18	2.3	10	55	5.5	
その他	-	-	-	-	-	-	※	※	※	※	※	※	
企業規模別	5～9人	※	※	※	※	※	※	※	※	-	-	-	
	10～29人	12	80	6.7	12	26	2.2	8	23	2.9	15	31	2.1
	30～49人	15	89	5.9	14	37	2.6	13	43	3.3	11	67	6.1
	50～99人	10	104	10.4	15	57	3.8	9	34	3.8	17	66	3.9
	100～299人	9	67	7.4	10	26	2.6	9	29	3.2	11	90	8.2
	300人以上	12	43	3.6	15	35	2.3	12	25	2.1	18	138	7.7

※は回答事業所が2件以下のため秘匿としている。

(3) インターンシップによる学生の受入れ予定がない理由

(問6で「3 受け入れる予定はない」と答えた方へ)
 付問2 インターンシップを受け入れる予定がない理由は何ですか。(〇は1つ)

インターンシップによる学生の受入れ予定がない理由については、「特にインターンシップが必要とは考えていない」が31.6%で最も高くなっており、上位に「インターンシップを受け入れるための時間的・人間的な余裕がない」「インターンシップに適した業務がない」が2割台で続いている。

図 インターンシップによる学生の受入れ予定がない理由(全体)

